T&D
T&D保険グループ
T&Dアセットマネジメント株式会社
東京都港区海岸一丁目2番3号　汐留芝離宮ビルディング
金融商品取引業者　関東財務局長(金商)第357号
加入協会:一般社団法人投資信託協会　一般社団法人日本投資顧問業協会

平成26年7月18日

投資者の皆様へ

T＆Dアセットマネジメント株式会社

「コスモ・中国株厳選ファンド(愛称:百花繚乱)」
2014年7月17日決算の分配金について

拝啓　時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。
平素は弊社の投資信託に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、弊社が運用しております「コスモ・中国株厳選ファンド(愛称:百花繚乱)」(以下、「ファンド」といいます。)につきまして、2014年7月17日決算の分配金を下記の通りご案内申し上げます。
今後ともお引き立てを賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

■ **第8期分配金**　(1万口当たり、税引前)

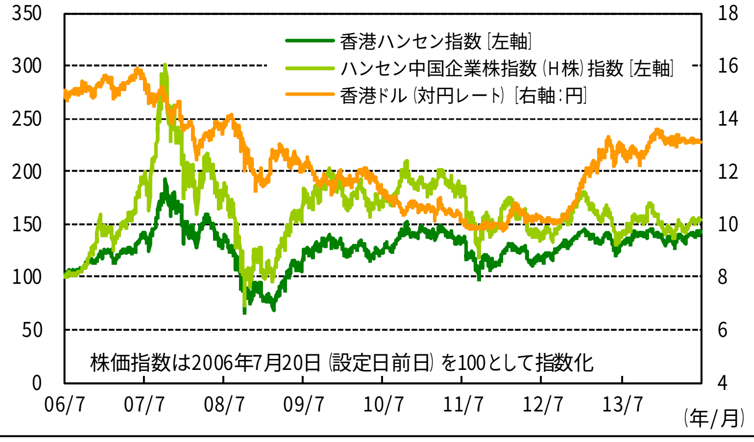
ファンド名	分配金
コスモ・中国株厳選ファンド	1,700円

■ **分配の実施について**

当期　(2013年7月18日～2014年7月17日)において、ファンドが実質的な主要投資対象とする香港株式は大幅に上昇した後、足許では調整局面に入っていますが、一方で香港ドルについては対円で上昇しました。これらのことから、現在の基準価額水準や市況動向等を勘案し、2014年7月17日の分配金を1,700円(1万口当たり、税引前)とさせていただきます。

※　分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。
※　分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※　詳細につきましては「投資信託説明書(交付目論見書)」の「分配方針」をお読みください。

○ **香港株式市場主要株価指数および香港ドル(対円レート)の推移**



期間:2006年7月20日(設定日前日)
～2014年7月17日(日次)
出所:Bloomberg より
T&D アセットマネジメントが作成

※　当資料をご覧頂くにあたっては4ページに記載された内容をよくお読みください。

■ 当期の運用経過 (2013 年 7 月 18 日～2014 年 7 月 17 日)

海外の市場については基準価額への影響を考慮し、前営業日基準としています。

【市場概況】

中国の経済指標が景気持ち直しを示唆する内容となったこと、米国の量的金融緩和の継続への期待が高まったこと、中国政府が経済構造改革への姿勢を強めたことなどから、香港株式市場は 2013 年 11 月にかけて上昇基調となりました。その後は、2014 年の中国の経済成長率の目標が引き下げられるとの懸念や、中国の経済指標が振るわない結果となったことによる景気失速懸念などから、期末にかけて上値の重い展開となりました。当期において主要な株価指数は、香港ハンセン指数が 10.4%上昇、ハンセン中国企業株指数(H株指数)が 11.2%上昇しました。

また、香港ドルは対円で上昇しました。期初 12.81 円で始まった香港ドル(対円レート)は期末にかけて 13.12 円まで上昇する展開となりました。

【運用概況】

当期の基準価額騰落率は、主にマザーファンドの保有株式の値上がりにより、16.5%(分配金込み)となりました。

銘柄選択にあたっては、ボトムアップアプローチでのファンダメンタル分析を用い、中長期的に高い成長が期待でき、相対的に割安と考えられる株式を選定し、ポートフォリオを構築しました。2014 年 6 月末時点でのマザーファンドにおける株式の組入銘柄数は 47 銘柄、組入比率は 90.2%となりました。組入上位の業種は公益事業、ソフトウェア・サービス、テクノロジー・ハードウェアおよび機器、エネルギー、銀行等となりました。個別銘柄では、廃水処理をはじめ水関連サービスに従事するペキン・エンタープライゼス・ウォーター・グループ、電力会社のフアディエン・フーシン・エナジーなどがプラスに寄与しました。一方、風力発電プロジェクトの開発に従事するホアノン・リニューアブルズ、油田掘削・油井調査等を行う SPT エナジー・グループなどがマイナスに寄与しました。

【今後の運用方針】

当ファンドは、主として中華圏の中小型株を中心に中国経済の成長の恩恵を享受することが期待でき、中長期的に高い成長が見込める銘柄の保有を継続し、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

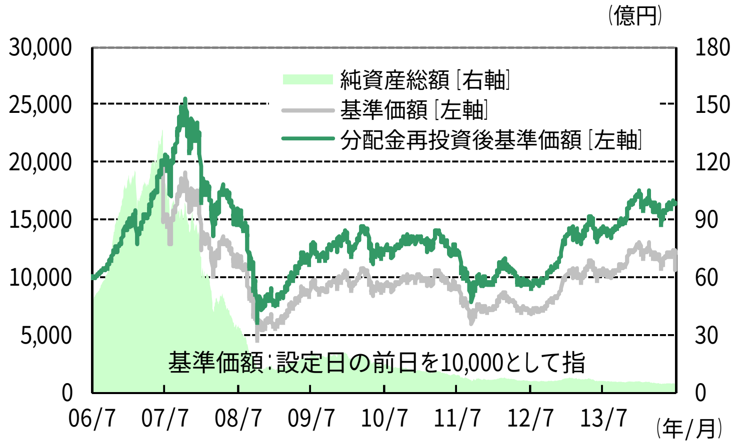
中国銀行業監督管理委員会(CBRC)が 7 月 1 日より、小規模企業向けの一部融資については預貸率の計算に含めないなど銀行の預貸率の算出ルールを緩和したため、銀行による融資の拡大が見込まれることから、今後景気の活性化が期待されます。香港市場は、投資家センチメントが改善しつつありますが、優良銘柄の多くは株価バリュエーションが低いままであり、今後再評価される可能性があると考えています。

セクターでは、当面、薬品関連や太陽光発電の下流事業関連などに注目しています。銘柄選択にあたっては、中長期的な観点から今後高い成長が期待でき、相対的に割安な銘柄を重視し、選別強化を図る方針です。

T&D
T&D保険グループ
T&Dアセットマネジメント株式会社
東京都港区海岸一丁目2番3号 汐留芝離宮ビルディング
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第357号
加入協会:一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

■ 基準価額の推移 (設定日(2006年7月21日)～2014年7月17日)

※ 基準価額の推移は税引前分配金を全額再投資したものとして計算しているため、実際の受益者利回りとは異なります。基準価額は信託報酬控除後です。



[直近5期の分配実績]

	決算日	分配金
第4期	2010/7/20	0 円
第5期	2011/7/19	0 円
第6期	2012/7/17	0 円
第7期	2013/7/17	100 円
第8期	2014/7/17	1,700 円
設定来		6,800 円

※1万口当たり、税引前

2014/7/17

基準価額	10,541 円
純資産総額	3.8 億円

■ 分配方針

毎決算時に、原則として以下の方針に基づき収益の分配を行います。

① 分配対象額は、経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。

② 収益分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。

③ 収益分配に充てず、投資信託財産に留保した利益については、運用の基本方針にしたがって運用を行います。

※ 将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆・保証するものではありません。

■ 販売会社の名称等

販売会社		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商) 第15号	○	○

以上

※ 当資料をご覧頂くにあたっては4ページに記載された内容をよくお読みください。

T&D
T&D保険グループ

T&Dアセットマネジメント株式会社
東京都港区海岸一丁目2番3号　汐留芝離宮ビルディング
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第357号
加入協会：一般社団法人投資信託協会　一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料はT＆Dアセットマネジメントが投資者の皆様への情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したものですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認いただき、ご自身でご判断ください。

ファンドのお申込みに際してのご留意事項

以下のリスクは、投資信託説明書（交付目論見書）に記載されているリスクを要約したものです。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）でご確認ください。

ファンドの基準価額は、投資を行っている有価証券等の値動きによる影響を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者に帰属します。したがいまして、ファンドは投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、ファンドは預貯金とは異なります。

◎ファンドの基準価額の変動要因となる主なリスクについて

「株価変動リスク」「為替変動リスク」「カントリーリスク」

※　基準価額の変動要因（リスク）は、上記に限定されるものではありません。

◎その他の留意点

○ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

○分配金に関する留意点

・分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

・分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

・投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部又は全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

○ファンドは、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。

ファンドの費用

■投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に、3.24％（税抜　3.0％）を上限として販売会社が個別に定める率を乗じて得た額とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に　0.3％の率を乗じて得た額を、換金時にご負担いただきます。

■投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）	毎日、ファンドの純資産総額に年1.998％（税抜1.85％）の率を乗じて得た額とします。 【外部委託先報酬】マザーファンドの運用委託先である国泰君安アセット（アジア）が受ける報酬は、委託会社が受ける報酬から支払われるものとし、その報酬額は、マザーファンドの日々の純資産総額に、年0.7％の率を乗じて得た額とします。
その他の費用・手数料	【監査費用】毎日、ファンドの純資産総額に年0.00756％（税抜0.007％）の率を乗じて得た額とし、ファンドでご負担いただきます。 【その他】組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、組入資産の保管等に要する費用等をファンドでご負担いただきます。これらの費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。

※上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳細につきましては必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をお読みください。